

引用文献

Lawrence, J. F. & Slipinski, S. A., 2010. Phloeostichidae. Handbook of Zoology, Arthropoda: Insecta, Coleoptera, Beetles, Morphology and Systematics, 2: 340–346.

Leschen, R. A. B., Lawrence, J. F. & Slipinski, S. A., 2005. Classification of basal Cucujoidea (Coleoptera: Polyphaga): cladistic analysis, keys and review of new families.

Invertebrate Systematics, 19: 17–73.

Węgrzynowicz P., 2007. Phloeostichidae. Catalogue of Palaearctic Coleoptera 4. (Edited Löbl & Smetana). p. 496. Apollo Books, Stenstrup.

(2014年1月14日受領, 2014年5月20日受理)

【短報】和歌山県におけるナガマルチビゲンゴロウとキボシツブゲンゴロウの記録

従来、和歌山県からはコツブゲンゴロウ科 Noteridae から3種、ゲンゴロウ科 Dytiscidae から34種の、計37種のゲンゴロウ類が報告されている(田中, 1997; 森・北山, 2002; 中尾, 2005; 的場, 2010, 2011; 初宿, 2011)。筆者はこれまで記録のなかった2種を採集しているので報告する。

ナガマルチビゲンゴロウ *Leiodytes kyushuensis* (Nakane, 1990)

1♂1♀, 和歌山県日高町阿尾, 15. IV. 2012, 筆者採集・保管(図1)。

本種の分布記録と生息環境は森(2013)が詳細に報告している。和歌山県では、阿尾湿地に面する丘陵地に形成された放棄水田から多数のマルチビゲンゴロウ *Leiodytes frontalis* と一緒に採集された。当地における本種の生息密度は薄く、水生植物がなく泥が剥き出しになった環境より雌雄1個体ずつ別々に発見されたのみであった。

キボシツブゲンゴロウ *Japanolaccophilus nipponensis* (Kamiya, 1938)

1ex., 白浜町高瀬川, 8. IX. 2012, 筆者採集・保管(図2); 1ex., 和歌山県すさみ町出谷上戸川, 2. XII.

2010, 山下大輔採集

高瀬川は河川中流域が平野部の樹林下を流れる小規模河川であり、本種は流れが緩やかな淵の根際より採集された。また上戸川は谷筋を流れる細い河川であり、本種の生息密度は薄かったという(藤原, 私信)。

末筆ながら、採集データを提供頂いた藤原淳一氏に御礼申し上げる。また、文献記録および生息環境についてご教示頂いた松野茂富氏(和歌山県立自然博物館)、森本静子氏(大阪府)、および中島淳博士(福岡県保健環境研究所)に御礼申し上げます。

引用文献

的場 績, 2010. 和歌山県産甲虫類分布資料 23. KINOKUNI, (78): 24–26.

的場 績, 2011. 和歌山県産甲虫類分布資料 24. KINOKUNI, (79): 11–13.

森 正人, 2013. 微小水生甲虫の生息環境について - ミジンダマガムシとナガマルチビゲンゴロウの例. さやばねニューシリーズ, (9): 34–36.

森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版 図説 日本のゲンゴロウ. 231pp. 文一総合出版, 東京.

中尾史郎, 2005. 和歌山市におけるカンムリセズゲンゴロウの発見. KINOKUNI, (66): 18.

初宿成彦編, 2011. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫目録 (1). 208 pp., 大阪市立自然史博物館.

田中昭太郎, 1997. 白浜町しらさぎ橋付近のゲンゴロウ2種の記録. KINOKUNI, (51): 15.

(岡田亮平 550-0015 大阪市西区南堀江 4-15-7-402)



図1. 和歌山県産ナガマルチビゲンゴロウ; 図2. 和歌山県産キボシツブゲンゴロウ。